

東日本大震災の被災状況に対応した市街地復興パターン概略検討業務(その1)

久慈市 調査総括表(1/14)

調査番号	その1	県名	岩手県	市町村名	久慈市																
<b>1. 被害の状況等</b>																					
(1) 被災前の人口(H22.10.1)			(2) 浸水被害状況図																		
総人口	36,872 人																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">年齢階級別人口</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>0-14 歳</th> <th>15-64 歳</th> <th>65 歳以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口(人)</td> <td>5,211</td> <td>21,943</td> <td>9,718</td> </tr> <tr> <td>比率(%)</td> <td>14.1</td> <td>59.5</td> <td>26.4</td> </tr> </tbody> </table>						年齢階級別人口				項目	0-14 歳	15-64 歳	65 歳以上	人口(人)	5,211	21,943	9,718	比率(%)	14.1	59.5	26.4
年齢階級別人口																					
項目	0-14 歳	15-64 歳	65 歳以上																		
人口(人)	5,211	21,943	9,718																		
比率(%)	14.1	59.5	26.4																		
<b>(2) 人的被害の状況(H23.12.31)</b>																					
死者	4 名																				
行方不明者	2 名																				
<b>(3) 都市計画等の状況</b>																					
都市計画区域	一部都計																				
市街化区域	区域区分無																				
用途地域	用途地域指定有																				
<b>(4) 建物等被災の状況 ※割合は行政区等々の各区域に示す割合</b>																					
区域	総面積 (ha)	全壊区域		半壊区域		一部損壊区域		流出棟数													
		面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)														
行政区	62,286	40	0.1	61	0.1	267	0.4	355													
都市計画区域	4,584	27	0.6	60	1.3	202	4.4	203													
用途地域	768	14	1.7	58	6.8	50	5.9	34													
<b>2. 復興計画の策定状況</b>																					
<b>(1) 復興計画等の策定状況</b>																					
	名称	策定年月日	委員会	パブリックコメント																	
復興計画	久慈市復興計画	平成 23 年 7 月 22 日	無	有																	
その他の方針・計画	久慈市復興ビジョン	平成 23 年 5 月 2 日	無	無																	
<b>(2)復興計画の策定方法等での特質(住民参加・大学との連携等・方向性の変更等)</b>																					
<p>【久慈市復興計画】</p> <p>市議会議員全員協議会 (7 月 22 日開催、復興計画決定)</p> <p>【久慈市復興ビジョン】</p> <p>久慈市東日本大震災復旧復興本部会議 (5 月 2 日開催、復興ビジョン決定)</p>																					

久慈市 調査総括表(2/14)

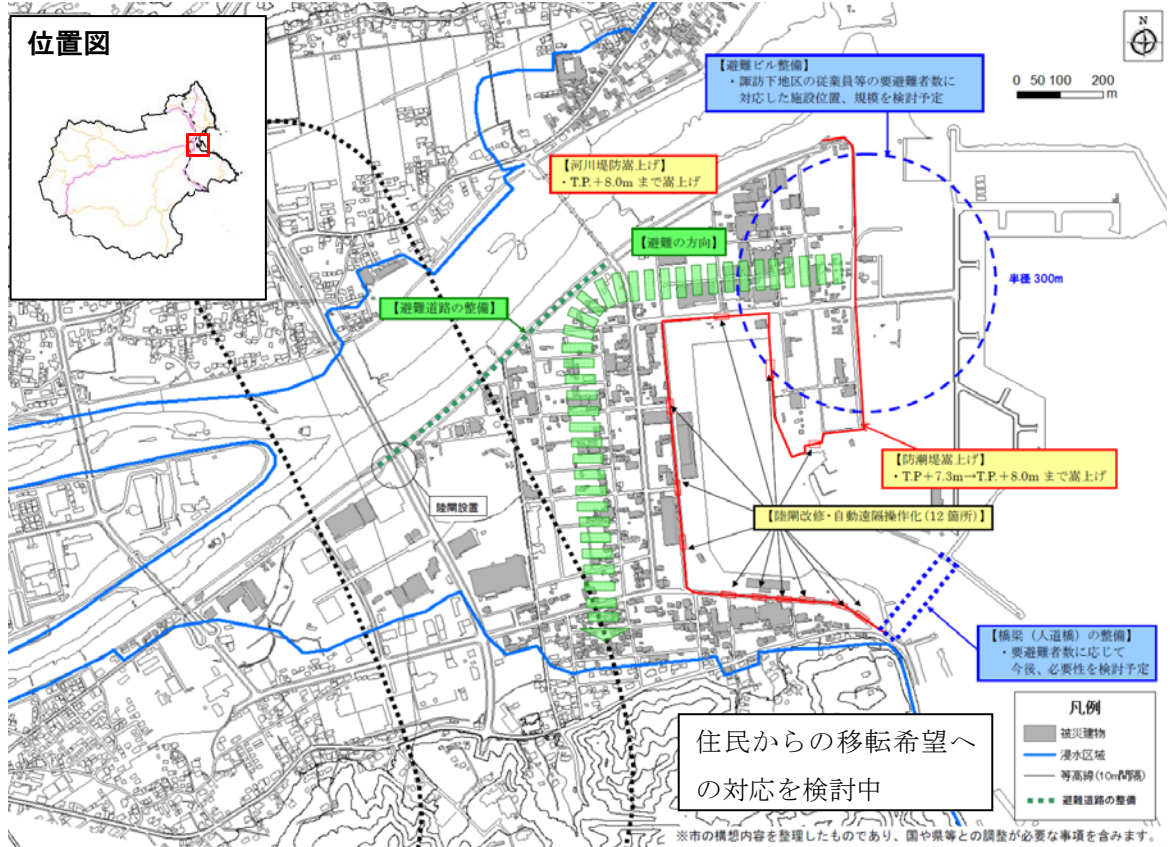
3. 復興計画の概要(市町村全体)		
(1) 整備の基本的な考え方	(2) 整備にあたっての基本的な方針	(3) 復旧構想図(市町村全体対象)
<p>■今後の土地利用の方向性について(復興計画より)</p> <p>○震災前と同じ場所でのまちづくりを基本</p> <p>※ただし、アンケート調査(5月10日~16日実施)では、地区によっては移転を希望する割合が多いところもあり、そのような地区においては、話し合いや意見交換を十分行った上で、住民の合意形成が図られた場合は集団移転について検討</p> <p>【アンケート結果：高台への移転希望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏井町大崎地区：10.0%</li> <li>久慈湊地区：25.7%</li> <li>元木沢地区：15.9%</li> <li>玉の脇地区：69.2%</li> <li>久喜地区：45.5%</li> </ul> <p>○津波防災施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>湾口防波堤の早期整備</li> <li>防潮堤および河川堤防の嵩上げ</li> </ul> <p>○ソフト対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災教育や津波避難訓練</li> </ul> <p>○住宅再建への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現行制度や国・県の各種支援制度との連動による支援</li> </ul>	<p><b>海岸堤防整備方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>L1(昭和三陸地震)対応の防潮堤整備 ※L2(東日本大震災、明治三陸地震) 久慈湾(T.P.+8.0m)、久慈南(T.P.+12.0m)、野田湾(T.P.+14.0m)</li> </ul> <p><b>河川堤防整備方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防潮堤の高さに整合させ、夏井川の堤防高を嵩上げ(T.P.+7.3m→T.P.+8.0m)</li> <li>久慈川の堤防嵩上げを調整中</li> </ul> <p><b>2線堤等の方針(含む緑地)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>玉の脇地区のまちづくりについて調整中</li> </ul> <p><b>市街地整備の方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の土地利用を基本とする</li> <li>被災集落の一部で高台移転を検討中</li> </ul> <p><b>交通体系の方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>JR八戸線 平成24年3月17日に全線運転再開予定(従前位置で復旧)</li> <li>三陸鉄道 平成24年4月に久慈~田野間は運転再開予定</li> </ul> <p><b>避難体系の方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>津波シミュレーション結果を踏まえ、避難路、避難タワー・ビルの整備</li> <li>防災行政無線等の整備による情報伝達体制の充実強化</li> </ul> <p><b>産業地域の復旧方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水産関連施設は従前位置での復旧</li> <li>避難路、避難施設の整備</li> </ul>	<p>【久慈港周辺地区(諏訪下・元木沢)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高台移転(検討中)</li> <li>三陸沿岸道路(久慈IC)の延長</li> <li>都市計画道路、避難道路の整備</li> <li>防潮堤の嵩上げ、陸開改修および自動遠隔操作化</li> <li>久慈川河川堤防の嵩上げ(調整中)</li> <li>避難ビルの整備、避難人道橋の整備</li> </ul> <p>【半崎地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難路、避難道路、避難場所、避難ビルの整備</li> </ul> <p>【久慈湊地区(夏井町大崎含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高台移転(検討中)</li> <li>夏井川の河川堤防の嵩上げ、防潮堤整備(堤防沈下の災害復旧)</li> <li>避難路、避難道路、避難所、避難場所の整備、避難タワー整備、避難ビル指定</li> <li>JR横断施設の整備、国道45号への避難通路の整備</li> </ul> <p>【玉の脇地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高台移転(検討中)、アクセス道路の整備</li> </ul> <p>【小袖地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防潮堤の嵩上げ</li> <li>陸開・水門の改修、陸開の新設</li> <li>自動遠隔操作化</li> <li>避難路の整備</li> </ul> <p>【久喜地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高台移転(検討中)</li> <li>防潮堤の嵩上げ</li> <li>陸開・水門の改修、自動遠隔操作化</li> </ul>
<b>地区別の方針の概要</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>湾口防波堤の早期整備に加え、防潮堤および河川堤防をL1対応高さに嵩上げ(久慈港周辺、半崎、久慈湊、小袖、久喜)</li> <li>避難路、避難道路、避難所、避難場所の整備(全地区)、避難ビル・タワーの整備(久慈港周辺、半崎、久慈湊)</li> <li>久慈港周辺(元木沢)、久慈湊、夏井町大崎、玉の脇、久喜地区について移転希望の個別ヒアリングを実施。移転希望を踏まえ、高台等への移転について検討中。</li> </ul>		
地区名	復興の基本的な考え方 (H23.11 地区別説明会で提示、国・県等と調整中で市独自の構想の事業を含む)	
久慈港周辺地区(諏訪下・元木沢)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地再建を基本。移転希望者への対応を検討中</li> <li>三陸沿岸道路(久慈IC)の延長、都市計画道路、避難道路の整備</li> <li>久慈川河川堤防の嵩上げ(調整中)、諏訪下防潮堤の嵩上げ、陸開改修及び自動遠隔操作化</li> <li>諏訪下地区の従業員等に対する避難ビルの整備、避難橋梁(人道橋)の整備</li> </ul>	
半崎地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難路、避難道路、避難場所、避難ビルの整備</li> </ul>	
久慈湊地区(夏井町大崎含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地再建を基本。移転希望者への対応を検討中</li> <li>夏井川の河川堤防の嵩上げ、防潮堤整備(堤防沈下の災害復旧)</li> <li>避難路、避難道路、避難所、避難場所の整備、避難タワーの整備、避難ビルの指定</li> </ul>	
玉の脇地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災集落の高台移転(検討中)、移転地へのアクセス道路の整備</li> </ul>	
小袖地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>防潮堤の嵩上げ、陸開・水門の改修、陸開の新設、自動遠隔操作化</li> <li>避難路の整備</li> </ul>	
久喜地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災集落の高台移転(検討中)</li> <li>防潮堤の嵩上げ、陸開・水門の改修、自動遠隔操作化</li> </ul>	
<p>上記の各地区のメニューは11/21~29に実施した地元説明会で提示した内容 ※国・県等と調整中で市独自の構想の事業を含む</p>		

東日本大震災の被災状況に対応した市街地復興パターン概略検討業務(その1)

久慈市 調査総括表(3/14)

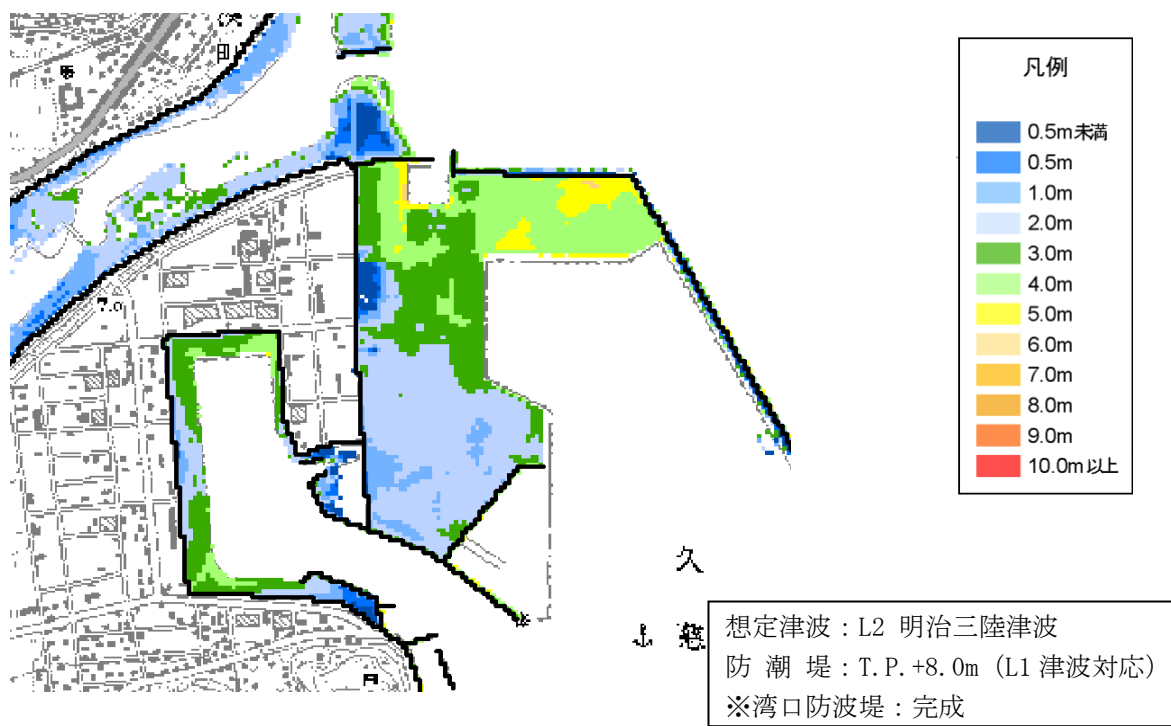
4. (1) 地区別復興方針(1)		久慈港周辺地区(諏訪下・元木沢)			
(1) 地区の概況					
面積(ha)		都市計画	非線引き用途地域内	役場・支所等	含まない
土地利用(被災前)概況		港湾周辺は漁業関連施設が中心(漁協、魚市場等) 後背地は住宅			
被災の状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今次津波高: T.P. +8.4m</li> <li>・流出棟数等: <ul style="list-style-type: none"> <li>全壊(流出) 72棟</li> <li>全壊(取り壊し) 不明</li> <li>全壊(条件付き再生可) 不明</li> <li>大規模半壊 36棟</li> <li>半壊(床上浸水) 250棟</li> <li>一部損壊(床下浸水) 78棟</li> </ul> </li> </ul>			
復興方針策定上留意すべき特徴		-			
(2) 地区の整備方針					
復興のパターン		B-①(検討中)			
堤防等の整備方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>○整備の有無(諏訪下防潮堤の嵩上げ)</li> <li>○堤防高(T.P. +8.0m)(想定津波:L1;昭和三陸津波(東日本大震災*)) ※湾口防波堤の完成時には、東日本大震災にも対応可能</li> <li>○整備主体 岩手県</li> <li>○河川堤防の考え方 久慈川河川堤防:バック堤としてT.P. +8.0m(調整中)</li> <li>○二線堤の考え方 -</li> </ul>			
市街地の整備方針	基本的方針	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>避難場所および避難路の整備によるソフト対策による減災を行うことを前提とする。</p> <p>また、被災市街地は、従前位置での復旧を基本とし、一部住民からの移転希望を踏まえ、対応を検討中。</p> </div>			
	現位置整備地区の方針				
	移転区域の方針				
	土地利用規制の方針				
	公共公益施設の方針				
	その他特記すべき方針				
	整備スケジュール				
避難計画の考え方		陸間改修及び自動遠隔操作化 避難道路、避難ビル、避難用人道橋の整備			
(3) 実現に向けての課題					
実現に向けての課題		現地再建と移転希望が混在する地区での復興手法案の検討と地元の合意形成			
(4) 比較した代替案					
上記以外の比較案			上記構想案採用に至った理由		
-			被災状況及び移転希望の状況から、従前位置での復旧を基本とし、あわせて移転希望者の対応を検討中		

(5)地区別構想図



(6)津波シミュレーション状況図(想定津波:L2or 今次津波記載)

市街地整備がない場合 (※市街地整備後のシミュレーションはなし)

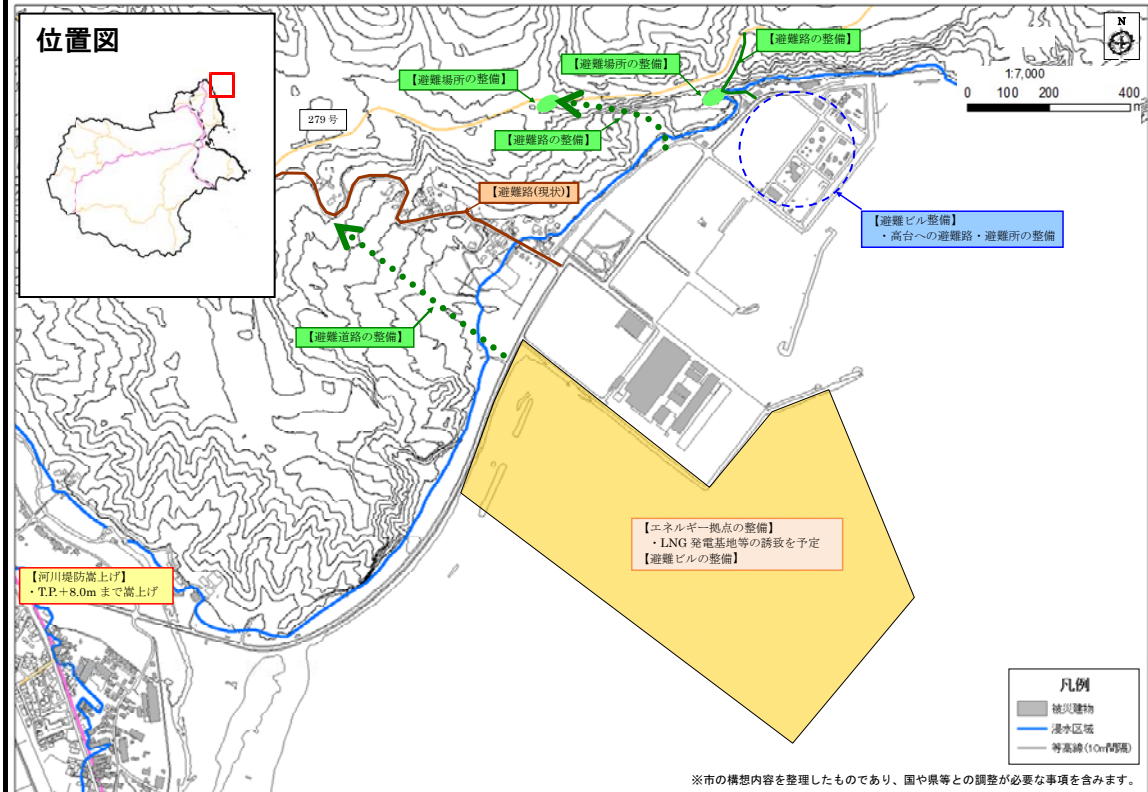


東日本大震災の被災状況に対応した市街地復興パターン概略検討業務(その1)

久慈市 調査総括表(5/14)

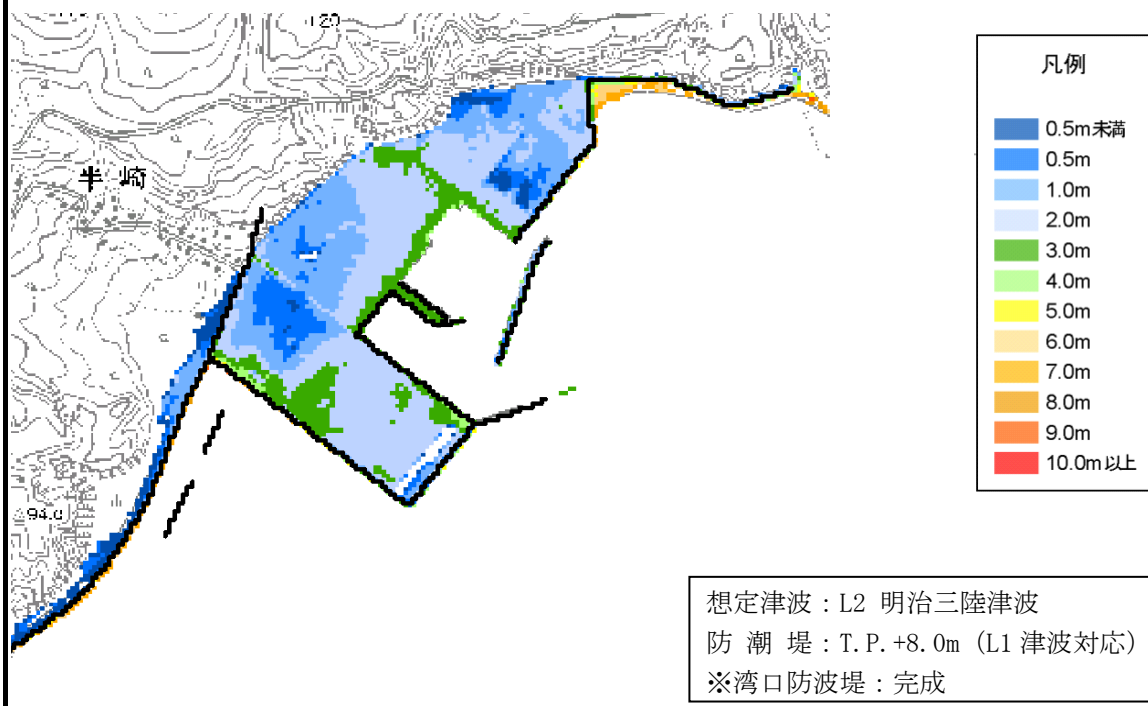
4. (2) 地区別復興方針(2)		半崎地区			
(1) 地区の概況					
面積(ha)		都市計画	非線引き用途地域外	役場・支所等	含まない
土地利用(被災前)概況	埋立地は石油備蓄基地関連施設および造船場等 埋立地以外は、観光施設および住宅地				
被災の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今次津波高： T. P. +8. 4m</li> <li>・流出棟数等： <ul style="list-style-type: none"> <li>全壊（流出） 47 棟</li> <li>全壊（取り壊し） 不明</li> <li>全壊（条件付き再生可） 不明</li> <li>大規模半壊 0 棟</li> <li>半壊（床上浸水） 1 棟</li> <li>一部損壊（床下浸水） 0 棟</li> </ul> </li> </ul>				
復興方針策定上留意すべき特徴	石油国家備蓄基地 公有水面埋め立て				
(2) 地区の整備方針					
復興のパターン	A-①				
堤防等の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○整備の有無 ー</li> <li>○堤防高 ー</li> <li>○整備主体 ー</li> <li>○河川堤防の考え方 夏井川河川堤防バック堤として T. P. +8. 0m</li> <li>○二線堤の考え方 ー</li> </ul>				
市街地の整備方針	基本的方針	・従前、震災前と同様の土地利用を基本			
	現位置整備地区の方針	嵩上げ盛土の有無：なし 土地利用の変更：なし（公有水面埋め立て） 整備手法：ー			
	移転区域の方針	ー			
	土地利用規制の方針	現況土地利用（公有水面埋め立て）			
	公共公益施設の方針	現況施設配置			
	その他特記すべき方針	ー			
	整備スケジュール	ー			
避難計画の考え方	避難路、避難道路、避難場所・避難ビルの整備				
(3) 実現に向けての課題					
実現に向けての課題	避難施設の整備、避難誘導方法の検討 公有水面埋め立てと関連企業誘致				
(4) 比較した代替案					
上記以外の比較案	上記構想案採用に至った理由				
ー	産業系の土地利用が主であるため、従前位置、震災前と同様の土地利用を基本として採用				

(5)地区別構想図



(6)津波シミュレーション状況図(想定津波:L2or 今次津波記載)

市街地整備がない場合 (※市街地整備後のシミュレーションはなし)

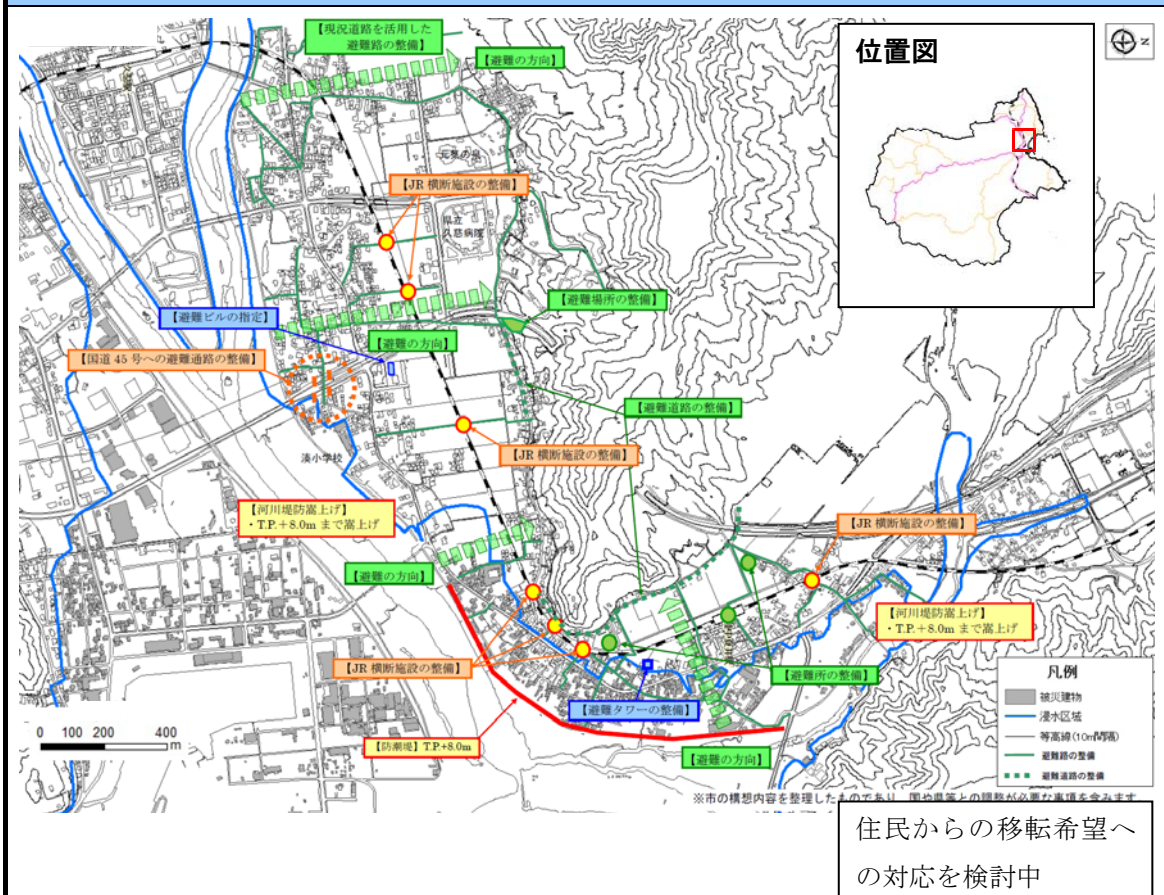


東日本大震災の被災状況に対応した市街地復興パターン概略検討業務(その1)

久慈市 調査総括表(7/14)

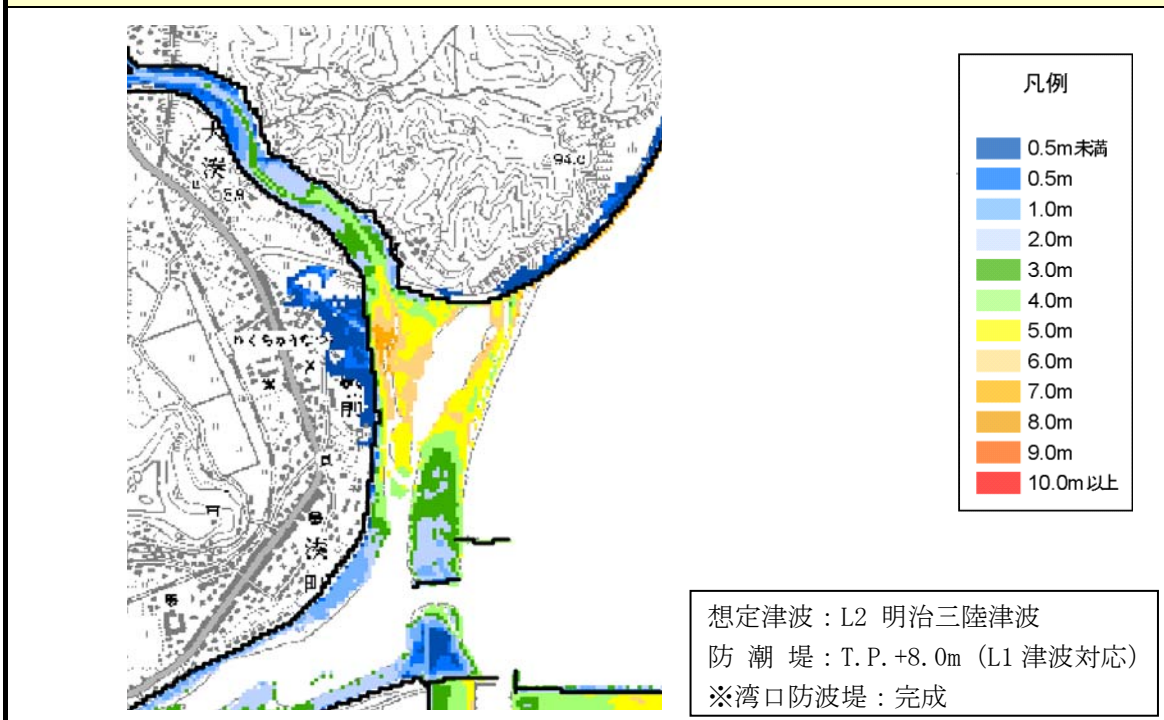
4. (3) 地区別復興方針(3)		久慈湊地区(夏井町大崎含む)			
(1) 地区の概況					
面積(ha)		都市計画	非線引き用途地域内	役場・支所等	含まない
土地利用(被災前)概況		住宅地			
被災の状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今次津波高： T.P. +13.1m</li> <li>・流出棟数等： <ul style="list-style-type: none"> <li>全壊（流出） 90棟</li> <li>全壊（取り壊し） 不明</li> <li>全壊（条件付き再生可） 不明</li> <li>大規模半壊 36棟</li> <li>半壊（床上浸水） 114棟</li> <li>一部損壊（床下浸水） 149棟</li> </ul> </li> </ul>			
復興方針策定上留意すべき特徴		—			
(2) 地区の整備方針					
復興のパターン		B-①、B-③（検討中）			
堤防等の整備方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>○整備の有無（堤防沈下の災害復旧）</li> <li>○堤防高（T.P. +8.0m）（想定津波：L1；昭和三陸津波（東日本大震災*）） ※湾口防波堤が完成時には、東日本大震災にも対応可能</li> <li>○整備主体 久慈市</li> <li>○河川堤防の考え方 夏井川河川堤防バック堤として T.P. +8.0m</li> <li>○二線堤の考え方 —</li> </ul>			
市街地の整備方針	基本的方針	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>避難場所および避難路の整備によるソフト対策による減災を行うことを前提とする。</p> <p>また、被災市街地は、原位置での復旧を基本とし、一部住民からの移転希望を踏まえ、対応を検討中。</p> </div>			
	現位置整備地区の方針				
	移転区域の方針				
	土地利用規制の方針				
	公共公益施設の方針				
	その他特記すべき方針				
整備スケジュール					
避難計画の考え方		避難路, 避難道路, 避難所, 避難場所の整備, 避難タワの整備, 避難ビルの指定 J R 横断施設の整備、国道 45 号への避難通路の整備			
(3) 実現に向けての課題					
実現に向けての課題		現地再建と移転希望が混在する地区での復興手法案の検討と地元の合意形成			
(4) 比較した代替案					
上記以外の比較案			上記構想案採用に至った理由		
—			被災状況、移転希望の状況、及び既に被災前と同じ場所で再建している住民が出ていることから、従前位置での復旧を基本とし、あわせて移転希望者の対応を検討中。		

(5)地区別構想図



(6)津波シミュレーション状況図(想定津波:L2or 今次津波記載)

市街地整備がない場合 (※市街地整備後のシミュレーションはなし)



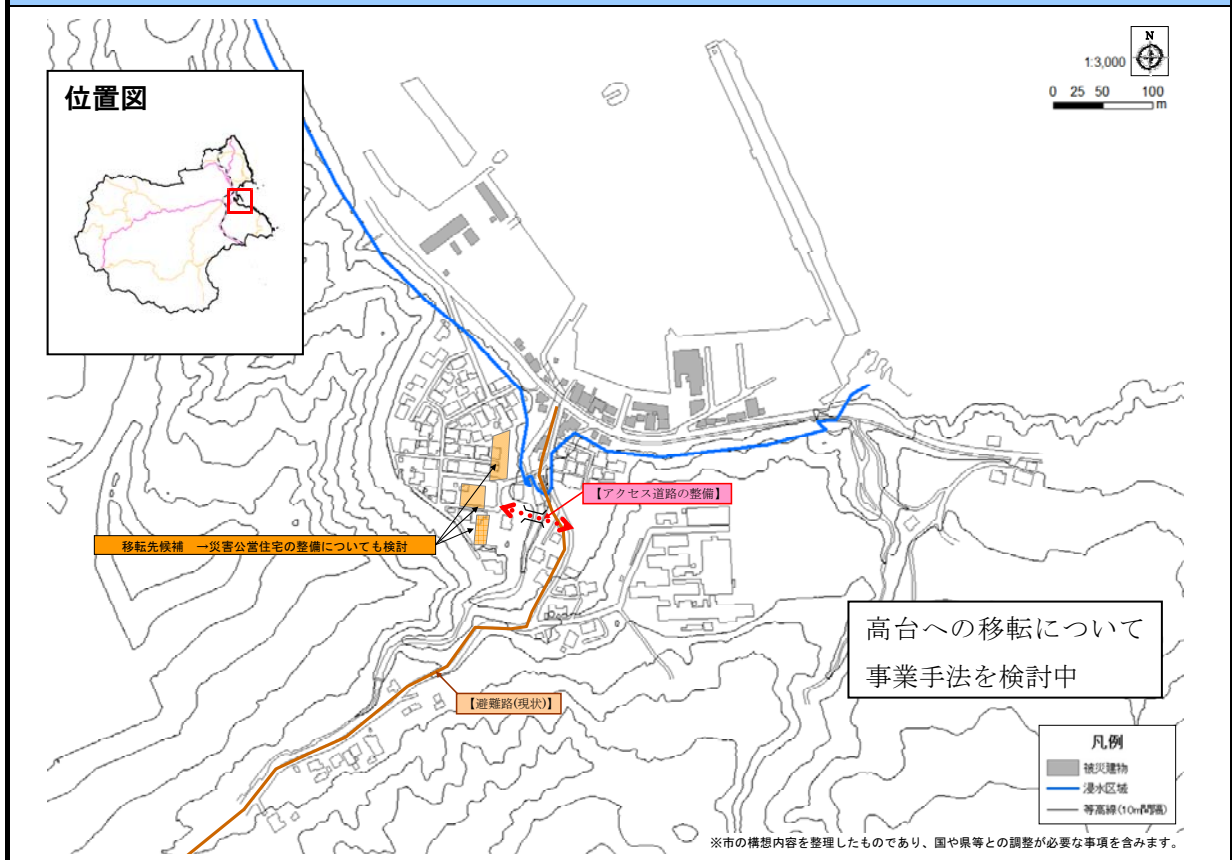


東日本大震災の被災状況に対応した市街地復興パターン概略検討業務(その1)

久慈市 調査総括表(9/14)

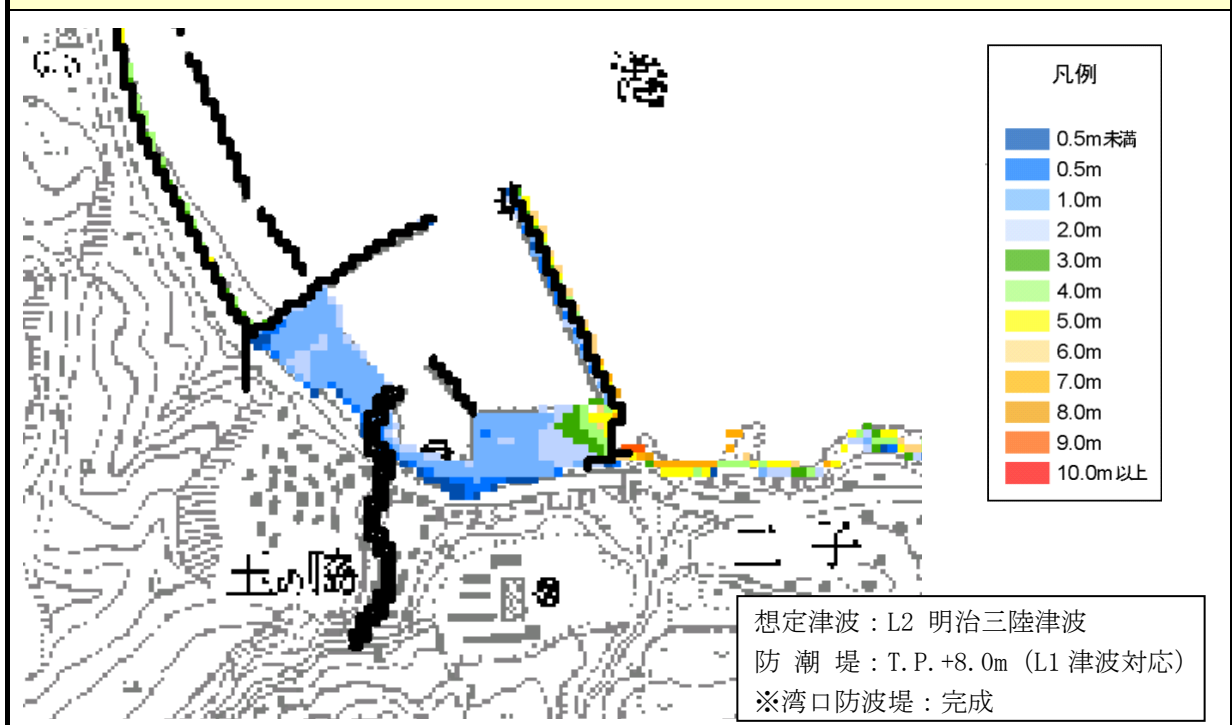
4. (4) 地区別復興方針(4)		玉の脇地区		
(1) 地区の概況				
面積(ha)		都市計画	非線引き用途地域外	役場・支所等 含まない
土地利用(被災前)概況	住宅地が主で、久慈港周辺に水産会社等の施設が立地			
被災の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今次津波高： T.P.+11.3m</li> <li>・流出棟数等： <ul style="list-style-type: none"> <li>全壊（流出） 35棟</li> <li>全壊（取り壊し） 不明</li> <li>全壊（条件付き再生可） 不明</li> <li>大規模半壊 0棟</li> <li>半壊（床上浸水） 7棟</li> <li>一部損壊（床下浸水） 3棟</li> </ul> </li> </ul>			
復興方針策定上留意すべき特徴	漁業関連施設（二子朝市等） 集落共有地			
(2) 地区の整備方針				
復興のパターン	A-③（検討中）			
堤防等の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 整備の有無（現行一部嵩上げ:調整中）</li> <li>○ 堤防高（T.P.+8.0m）（想定津波：L1；昭和三陸津波（東日本大震災*）） ※湾口防波堤が完成時には、東日本大震災にも対応可能</li> <li>○ 整備主体 岩手県</li> <li>○ 河川堤防の考え方 ー</li> <li>○ 二線堤の考え方 ー</li> </ul>			
市街地の整備方針	基本的方針	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     避難路の整備によるソフト対策による減災を行うことを前提とする。                       また、被災市街地は、従前位置での復旧を基本とし、一部住民からの移転希望を踏まえ、対応を検討中。                 </div>		
	現位置整備地区の方針			
	移転区域の方針			
	土地利用規制の方針			
	公共公益施設の方針			
	その他特記すべき方針			
	整備スケジュール			
避難計画の考え方	アクセス道路整備			
(3) 実現に向けての課題				
実現に向けての課題	関係者との合意形成			
(4) 比較した代替案				
上記以外の比較案	上記構想案採用に至った理由			
県道嵩上げ案（検討中・調整中）	移転希望を踏まえて高台への移転について事業手法を検討中			

(5)地区別構想図



(6)津波シミュレーション状況図(想定津波:L2or 今次津波記載)

市街地整備がない場合 (※市街地整備後のシミュレーションはなし)

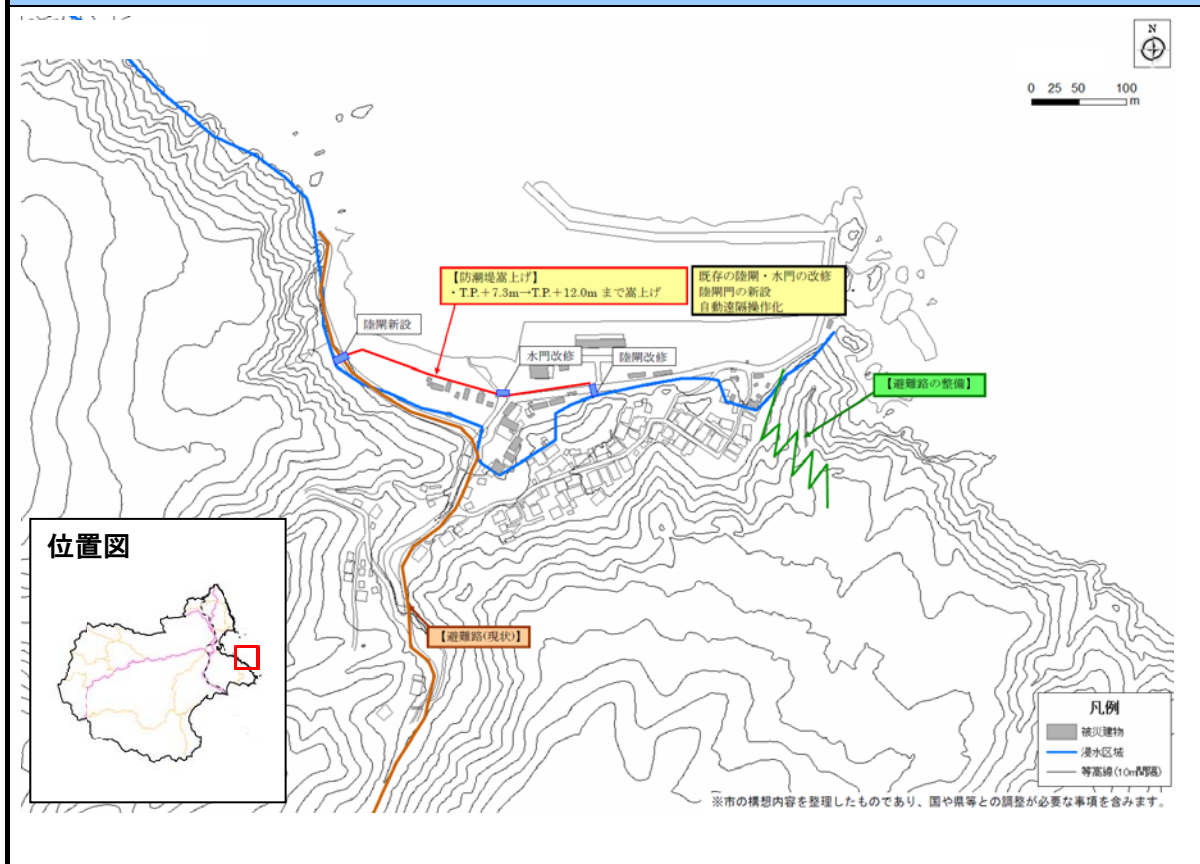


東日本大震災の被災状況に対応した市街地復興パターン概略検討業務(その1)

久慈市 調査総括表(11/14)

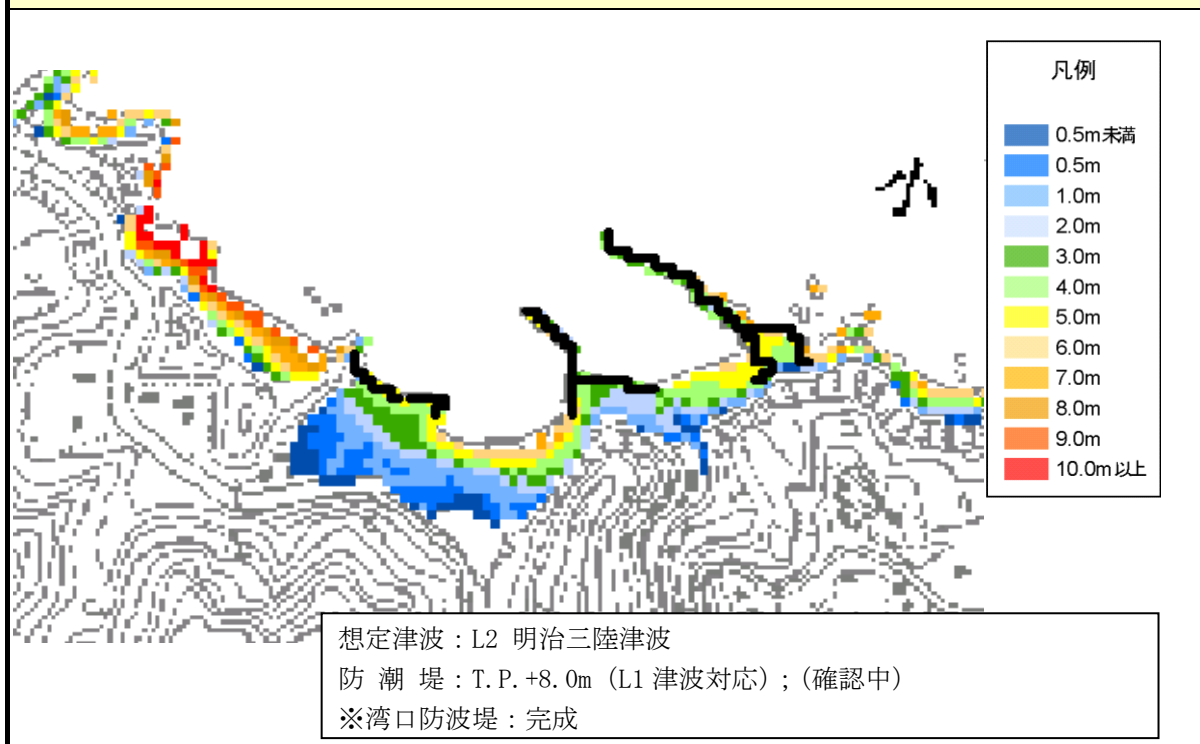
4. (5) 地区別復興方針(5)		小袖地区			
(1) 地区の概況					
面積(ha)		都市計画	非線引き用途地域外	役場・支所等	含まない
土地利用(被災前)概況	沿岸部は漁業関連施設が主で宅地は概ね高台に位置				
被災の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今次津波高： T.P.+14.5m</li> <li>・ 流出棟数等： <ul style="list-style-type: none"> <li>全壊（流出） 15棟</li> <li>全壊（取り壊し） 不明</li> <li>全壊（条件付き再生可） 不明</li> <li>大規模半壊 4棟</li> <li>半壊（床上浸水） 5棟</li> <li>一部損壊（床下浸水） 3棟</li> </ul> </li> </ul>				
復興方針策定上留意すべき特徴	—				
(2) 地区の整備方針					
復興のパターン	B-①（検討中）				
堤防等の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 整備の有無（現行嵩上げ）</li> <li>○ 堤防高 (T.P.+12.0m) (想定津波：L1；昭和三陸津波)</li> <li>○ 整備主体 久慈市</li> <li>○ 河川堤防の考え方 水門改修</li> <li>○ 二線堤の考え方 —</li> </ul>				
市街地の整備方針	基本的方針	・ 防潮堤、陸閘、水門の整備により対応			
	現位置整備地区の方針	嵩上げ盛土の有無：なし 土地利用の変更：なし 整備手法：—			
	移転区域の方針	—			
	土地利用規制の方針	—			
	公共公益施設の方針	—			
	その他特記すべき方針	—			
	整備スケジュール	—			
避難計画の考え方	避難路の整備、陸閘・水門の自動遠隔操作化				
(3) 実現に向けての課題					
実現に向けての課題	—				
(4) 比較した代替案					
上記以外の比較案			上記構想案採用に至った理由		
—			被災状況及び現地の土地利用を踏まえて、防潮堤の嵩上げにて対応することを採用		

(5)地区別構想図



(6)津波シミュレーション状況図(想定津波:L2or 今次津波記載)

市街地整備がない場合 (※市街地整備後のシミュレーションはなし)

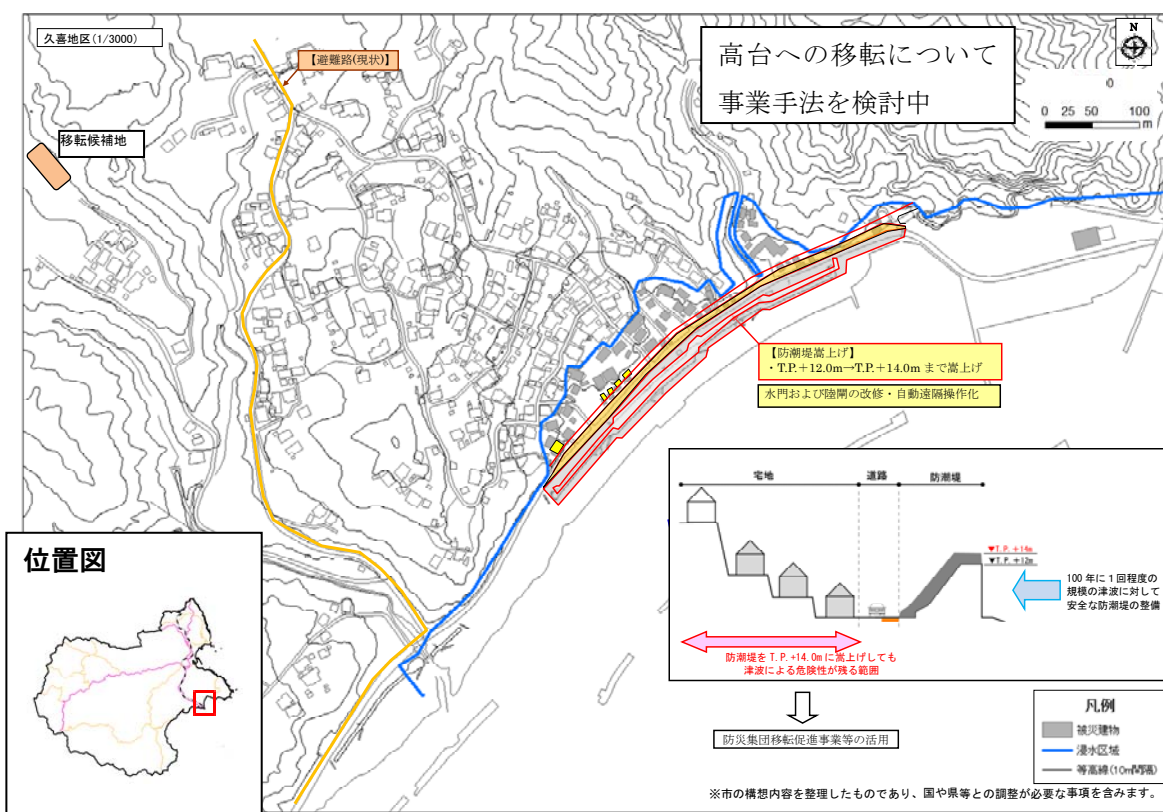


東日本大震災の被災状況に対応した市街地復興パターン概略検討業務(その1)

久慈市 調査総括表(13/14)

4. (6) 地区別復興方針(6) 久喜地区					
(1) 地区の概況					
面積(ha)		都市計画	非線引き用途地域外	役場・支所等	含まない
土地利用(被災前)概況		住宅			
被災の状況		・今次津波高： T.P. +20.0m ・流出棟数等： 全壊（流出） 57棟 全壊（取り壊し） 不明 全壊（条件付き再生可） 不明 大規模半壊 10棟 半壊（床上浸水） 11棟 一部損壊（床下浸水） 17棟			
復興方針策定上留意すべき特徴		海岸沿いの急傾斜地に住宅がまとまって存在			
(2) 地区の整備方針					
復興のパターン		B-③（検討中）			
堤防等の整備方針		<input type="checkbox"/> 整備の有無（現行嵩上げ） <input type="checkbox"/> 堤防高（T.P. +14.0m）（想定津波：L1；昭和三陸津波） <input type="checkbox"/> 整備主体 岩手県 <input type="checkbox"/> 河川堤防の考え方 ー <input type="checkbox"/> 二線堤の考え方 ー			
市街地の整備方針	基本的方針	避難場所および避難路の整備によるソフト対策による減災を行うことを前提とする。 また、被災市街地は、従前位置での復旧を基本とし、一部住民からの移転希望を踏まえ、対応を検討中。			
	現位置整備地区の方針				
	移転区域の方針				
	土地利用規制の方針				
	公共公益施設の方針				
	その他特記すべき方針				
	整備スケジュール				
避難計画の考え方					
(3) 実現に向けての課題					
実現に向けての課題		現地再建と移転希望が混在する地区での復興手法の検討と地元の合意形成			
(4) 比較した代替案					
上記以外の比較案			上記構想案採用に至った理由		
ー			既に被災前と同じ場所で住居の再建も一部あるが、高台への移転希望も複数あることから、事業手法を検討中		

(5)地区別構想図



(6)津波シミュレーション状況図(想定津波:L2or 今次津波記載)

市街地整備がない場合 (※市街地整備後のシミュレーションはなし)

